

バラ貨物の鉄道ラウンド輸送化

協議会構成員

DOWAエコシステム株式会社、日本貨物鉄道株式会社、DOWA通運株式会社

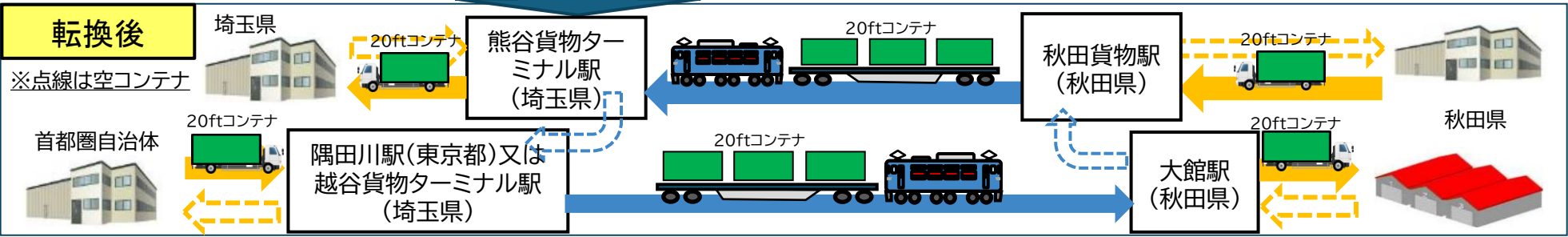
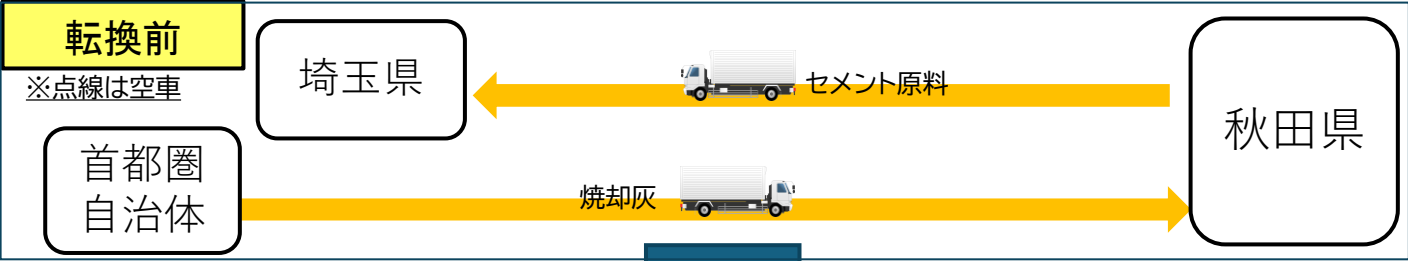
協議会名: バラ用コンテナを利用した首都圏から秋田の自治体焼却灰とセメント原料のラウンド輸送協議会

【事業実施背景】首都圏から秋田の自治体焼却灰輸送を長距離トラックから鉄道貨物輸送用バラ用コンテナへ切り替えると共に、その帰りに秋田から首都圏のセメントの原料となる石膏を輸送し、鉄道モーダルシフトに加えてバラ用コンテナによるラウンド輸送化を実現する。

※ラウンド輸送: 輸送先に荷物をおろしたトラックが、別の荷物を積み込んで出発地に戻る輸送形態

事業内容

Point 荷姿がバラの貨物を単純に長距離トラックから鉄道コンテナへモーダルシフトをしても、帰りが空コンテナという非効率輸送が残ってしまう。帰りの荷姿がバラの貨物も同時にモーダルシフトを進めることで工数とCO2の更なる削減を達成できた。



想定事業実施効果

【モーダルシフトとラウンド輸送】

- ・首都圏から秋田県へは年間6～7万トンの自治体焼却灰を輸送しているが、そのうちの1～2万トン近くは未だ長距離ダンプトラック輸送に依存
- ・DOWA通運(株)で鉄道用20ftコンテナを新規で15基制作して自治体焼却灰とセメント原料をともに月300t、年3,600tをモーダルシフト、自治体焼却灰とセメント原料のラウンド輸送を同時に実現